

2022年4月入学 第1回入学試験問題用紙
Entrance Examination for April 2022 (1st Application)
Examination Questions

岡山大学大学院環境生命科学研究科
Graduate School of Environmental and Life Science
(Master's Course) OKAYAMA UNIVERSITY

専門科目 Subject
野菜花卉園芸学

以下の問1から問6の中から、5問選択して答えなさい。解答用紙は1問につき1枚とし、必ず問題ごとの番号を記して解答しなさい。

問1. 近年、地球温暖化の影響と考えられる国内の平均気温上昇により、夏期の切り花や鉢物において、品質の低下や生産量の減少がみられている。夏期の高温によって、どのような問題が生じているか、花卉園芸作物名をあげて説明しなさい。また、この問題を回避するために行われている栽培方法を2つ以上あげて説明しなさい。

問2. 日本における切り花ギクの周年生産について、次の語句を説明しなさい。

- 1) 品種群の特性
- 2) 電照栽培
- 3) 芽なしギク

問3. セル成型苗生産において種子の発芽率を高めるために行なわれている種子処理について説明しなさい。

問4. トマトやキュウリなど果菜類の施設栽培では、低温期に炭酸ガス施用が実施されることが多い。低温期の施設内の炭酸ガス濃度の変化について解説し、炭酸ガス施用の意義を説明しなさい。

問5. ニンジンの冬まき栽培では夏まき栽培に比べて抽苔が発生しやすい。ニンジンの花芽分化と抽苔に関する性質を説明するとともに、冬まき栽培で抽苔を回避するために必要な技術と品種特性を説明しなさい。

問6. イチゴの一季成り品種 (June-bearing type)と四季成り品種 (Ever-bearing type)の花成誘導条件についてその違いが明確になるよう説明しなさい。